

Public
Relations

広報いちのへ

Ichinohe

Jan.
2022
No.714

1

雪遊び楽しいね♪



今月の表紙



今年で25回目を迎えた、元旦の茂谷の山登山。写真は、山を下り終えた後、雪遊びに夢中になる外谷優華ちゃん(1/1、関連19頁)

28	のびのびクリスマス会「一戸小金管バンド」感謝の演奏報告会」編集後記
26	お知らせ
24	文化財巡り「文芸」子育て知恵袋「広報クイズ」
23	コミセン&図書館通信
22	たより 御所野縄文博物館「運動公園」
21	一戸高校の魅力を紹介「#校陵」
20	保健だより
18	浄法寺漆×御所野縄文
16	まちの話題 地域と繋がる日本酒づくりプロジェクトなど
6	特集 受け継ぐかたち
4	TOPICS

目次 Contents

2 年頭のごあいさつ

年頭のごあいさつ



一戸町長 小野寺 美登

新 年おめでとうござい
ます。謹んで新年の
ごあいさつを申し上げます。
本年も宜しくお願
い申し上げます。
町民の皆さまにおかれ
ましては、ご健勝で新年
をお迎えいたしましたこ
とを心よりお慶び申し上
げるとともに、本年も良
い年になりますようご祈
念申し上げます。
昨年7月に関係者の皆
さまの長年のご努力によ
り御所野遺跡を含む「北
海道・北東北の縄文遺跡
群」が世界文化遺産に登
録され、世界遺産のある
「いちのへ町」が誕生いた
しました。
自然の恵みを得ながら

共生する「縄文の精神」
に基づき、将来にわたっ
て持続可能な地域を形成
し、世界遺産を生かした
まちづくりを推進してま
いります。
新型コロナウイルス感
染症の終息がまだ見え
ない状況ですが、基本
的な対策を講じながら日
々の生活を送られますこ
とをお願い致します。
3回目のワクチン接種
については、はじめに医
療従事者から実施し、2
月から65歳以上を対象に
進める予定です。
建設に向け準備を進め
ている道の駅は、多くの
方々の意見を聞いて一戸
らしさがあふれ、魅力あ

明 けましておめでとうご
ざいます。
皆さまにおかれましては、
希望に満ちた輝かしい新春を
健やかに迎えにいられたこ
とと、心からお慶び申し上
げます。
日頃から、町議会への深い
ご理解と議会活動に対する温
かいご支援とご協力を賜り、
厚く御礼申し上げます。
まず、昨年十一月に行われ
ました町議会議員選挙におき
まして、町民の皆さまからご
負託をいただき、14人の町議
会議員が決定いたしました。
複雑、多様化する町民ニーズ
を的確に把握し、当町のさら
なる飛躍に向け、議員一丸と
なって、議会活動に取り組ん
でまいりますので、より一層

のご理解とご協力をいただき
ますよう、よろしく願
いいたします。
昨年を振り返りますと、コ
ロナ禍において、皆さまには
不安の中での生活が続き、ま
た、事業者の皆さまにおかれ
ましては、観光客の減少や外
出自粛、経済活動の低迷な
ど、大変厳しい一年となりま
した。
そうした中、七月の御所野
遺跡を含む「北海道・北東北
の縄文遺跡群」の世界遺産登
録は、町民の皆さまをはじめ、
町内外の数多くの関係者にと
りまして明るい話題となっ
たところで、
議会では、念願の世界遺産
登録となった喜びを町民の皆
さまと分かち合うとともに、

るものにしていきたく
と
考えております。
奥中山高原については、
町民の皆さまの福利厚生
施設として、安定的な運
営の実現ができるように
町の方針を確立させ、山
積みしている諸問題を解
決していくことに努力し
てまいります。
新規就農者の確保、育
成、若い担い手へのサポー
トなど推進して参ります
し、子育て支援、スポー
ツ振興、ICT環境を効
果的に活用した学校教育、
医療福祉介護分野の人材
確保のため事業所などに
意見を伺い検討してまい
ります。
新型コロナウイルス感
染症の状況を見極めなが
ら、地区別懇談会を開催
し町民の皆さまのご意見
を伺い町政に生かしてい
きたいと考えていますの
で、ご指導ご鞭撻のほど
お願いを申し上げ、新年
のご挨拶とさせていただきます。

町内の個人消費を喚起し地域
経済の活性化を図るための政
策提案を行い、プレミアム付
商品券発行事業として実現し
た次第であります。
本年は、「世界遺産のまち」
として、新たな将来像を描く
元年であり、議会といたしま
しても、行政のチェック機能
のみならず、さらに提案型の
議会を進め、積極的に議会改
革に取り組みながら「住民と
議会・行政」の信頼関係を築
いていきたいと考えておりま
す。町民の安全・安心な生活
を守るとともに、より良い暮
らしを送ることができるよう、
皆さまと知恵を出し合い、
二元代表制の一翼を担う議会
としての役割を十分果たせる
よう最善の努力をまいります。

結びに、本年が一戸町にと
りまして、さらなる発展の年
となりますよう、町民の皆さ
まには、健康で笑顔があふれ
る輝かしい年となりますよ
う、心からご祈念申し上げます
して、新年のご挨拶とさせて
いただきます。



一戸町議会議長 駒木 二郎

読書に関する 作文コンクール

第43回一戸町読書に関する作文コンクール表彰式が12月10日、コミュニティセンターで開かれました。今回は応募総数59点の中から、27人が各賞を受賞しました。(敬称略)



- 【小学校低学年の部】**
最優秀賞 畠山 真緒(一戸小2年) おべん当、大すき
優秀賞 小野寺 沙紀(一戸小2年) くるくる、みんなに
佳作 田中 奏次(一戸南小1年) おばあちゃんのへや
 土川 結(鳥海小2年) 「さだこ」とのやくそく
 平野 慧典(小鳥谷小2年) 「ここからきたのおべんとつ」
【小学校中学年の部】
最優秀賞 吉川 瑛太(一戸小3年) 「こもSDGs」を読んで
優秀賞 東谷 妃利(一戸小3年) 「すぎなこと」がてなこと
佳作 久保 愛音(奥中山小3年) を読んで
 干してみたよ
 和山 由依(一戸小3年) 「ヘレン・ケラー」を読んで
 久保 琥太郎(一戸小3年) ふだい村を守ったきせきの水門
【小学校高学年の部】
最優秀賞 草木 快人(二戸南小6年) 自分で決める
優秀賞 穴久保 大希(小鳥谷小5年) 自然からのおくりもの
【中学生の部】
佳作 小倉 星香(一戸小6年) 世界とわたしをつなぐもの
 松尾 采美(二戸南小5年) 私コンプレックス
【中学生の部】
最優秀賞 東谷 璃久(一戸中1年) 記憶
優秀賞 柴田 彩蓮(一戸中3年) 未来へ語り継がなければいけないこと
佳作 坂本 美音(一戸中2年) 「えんとつ町のプペル」を読んで
 倉口 心羽(奥中山中2年) 髪がつかなく物語
【高校生の部】
最優秀賞 中家 一姫(一戸高3年) 声なき声を聞くために
優秀賞 藤村 留菜(一戸高3年) 自分らしい自分
 山本 竜綺(一戸高3年) 自分と向き合うこと
佳作 高島 あいな(一戸高2年) 心が弱ったときには
 山本 真妃(一戸高1年) 自分の生き方を描く
【一般の部】
優秀賞 赤墨 諒太郎(二戸市) 謝辞
 中嶋 毅(二戸) 「寡黙なる巨人」からの伝言
 本宮 立子(二戸) 小川未明の作品と出会って



御所野遺跡 世界遺産登録記念式典

御所野遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録記念式典が12月11日、コミュニティセンターで開かれました。

式典には関係者ら約150人が出席。登録に向け尽力してきた6人と4団体への功勞表彰が行われたほか、町民の代表5人が御所野遺跡の保存・活用や魅力発信に向け宣言しました。

小野寺美登町長は「皆さんと喜びを分かち合えることをうれしく思う」とあいさつし、一人一人に町産のワリの木でできた表彰状を手渡しました。特別功勞賞を受章した元一戸町長の稲葉暉さんは「登録まで長い道のりだったが、努力すれば夢はかなう」と感慨深げに語りました。

式典に先立ち御所野縄文賛歌を披露した、合唱団「まべち」代表の高橋幹子さんは「御所野縄文賛歌は町民のために作った歌。この場で披露できてうれしい」と喜びました。



縄文のまちづくりに向け宣言する町民の代表5人

- 受章者(敬称略)**
- ◆特別功勞賞 稲葉 暉(一戸町)
 - ◆功勞賞 高田 和徳(一戸町)
 - 川守田 浩(一戸町)
 - 柴田 俊春(一戸町)
 - 大矢 邦宣(一戸町)
 - 田中 辰也(一戸町)
 - 「御所野遺跡を支える会」(上田敏雄会長)
 - 「自然と歴史の会」(梅垣文夫会長)
 - 「御所野発掘友の会」(久保田滋子会長)
 - 「御所野愛護少年団」(二戸南小・柴田綱斗団長)

税に関する作文 『税』を身近に

全国納税貯蓄組合連合会と国税庁が募集した『税についての作文』で町内の中学生5人が受賞しました。作文を書くため税について学んだ生徒たち。税を身近に感じるきっかけになりました。

【受賞者】◆県会長賞…米田百々花さん(奥中山中3年)◆優秀賞…田中大翔さん(一戸中3年)、本宮昇虎さん(同)◆町会長賞…久保田愉来さん(一戸中3年)、吉谷地珠里さん(奥中山中3年)



(右から)田中大翔さん、本宮昇虎さん、久保田愉来さん
 ◎米田百々花さん、◎吉谷地珠里さん

地域の環境美化に貢献 下町町内会に岩手県知事表彰

下町町内会(八木澤幸一会長)が令和3年度公衆衛生模範団体岩手県知事表彰を受賞しました。同町内会は、環境美化活動やごみの減量・分別収集、クリーン活動へ積極的に参加するなど、住民の環境衛生意識を高めるための活動に継続して取り組んでいることが評価されました。



表彰状を手に笑顔を見せる八木澤会長

御所野遺跡ボランティアへの感謝を込めて

世界遺産を祝う会が12月8日、御所野縄文博物館で開かれました。日ごろ、御所野遺跡で活動するボランティアの皆さんへの感謝を込めて同博物館が企画。遺跡の紹介映像のほか、平成2年に行われた御所野遺跡の現地説明会の様子が上映され、参加者は思い出話に花を咲かせていました。



約30年前の遺跡の映像に見入る大勢のボランティア



小鳥谷セツ踊り



中山神楽



女鹿神楽



高屋敷神楽



高屋敷神楽



女鹿神楽



根反鹿踊り

特集 受け継ぐかたち

第43回一戸町郷土芸能祭が11月21日、コミュニティセンターで開かれました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。2年ぶりの晴れ舞台では町内の郷土芸能8団体が華麗な舞いを披露し、121人の観客がその姿に魅了されました。この郷土芸能祭で最後を飾った『根反鹿踊り』に焦点を当て、現状を紹介します。

根反鹿踊りは、県北地域で初めて岩手県指定無形民俗文化財に指定され、過去には東京国立劇場の舞台に立つなど、輝かしい出演歴や受賞歴を誇ります。しかし、その裏には人口減少による後継者不足の問題も――。今日まで受け継がれてきた地域の伝統を守り続ける人々の思いを伝えます。



小鳥谷セツ踊り



中山神楽



2年ぶりの舞台に拍手も大きくなります



田中新山社神楽



根反鹿踊り



小友神楽

根反鹿踊り

400年の伝統

根反鹿踊りとは

鹿頭しかがしらを被り、体に覆った幕を両手で握って踊る『鹿』とシヤカシヤカと特徴的な音を鳴らしながら踊る『ササラ』、そして『太刀』。お囃子おばしは太鼓、笛、ササラの音からなり、約40節ある歌に合わせてダイナミックに舞うのが根反鹿踊りです。今から400年以上前から根反地区の伝統として踊り継がれてきたといわれています。

1966年(昭和41年)に根反鹿踊り保存会が発足し、伝統をしっかりと受け継ぐために根反地区で定期的に練習を行ってきました。現在保存会に所属しているのは中学生から80代までの32人。毎週土曜の夜に根反自治公民館で練習しています。保



中瀬春英会長
指導する宇部さんのお子さんと。
温かい目で練習を見守ります

存会の活動について中瀬春英会長は「人口減少による担い手不足に悩まされていますが、一戸南小の根反鹿踊り伝承クラブや、総合的な学習の時間(以下「総合学習」)など、地域と学校が連携して伝承に取り組み環境づくりを行ってきました」と語りました。「現在指導するのは保存会の若手2人ですが、高齢の自分ができるのは練習環境を整えること。できることならいつまでも根反鹿踊りを残したい」と意気込みます。

発祥と歴史

根反鹿踊りの発祥の地は加賀白山かがはくせん(岐阜県と石川県にまたがる標高2702メートルの山)の麓といわれ、発祥の由来には二つの説があります。

一つは平安時代後期の武将である八幡太郎義家はちまんたろうぎえ(源義家)が、戦で鹿の角に松明をつけて敵陣に攻め入り勝利し、鹿の功績を称え、その遊び戯れる様子を踊りにし、それを加賀国の山伏やまぶしが根反に伝え、根反城主根反弥左衛門が村人に推奨し、広めたのが始まりという説です。



大正14年の写真。根反自治公民館に優勝記念が飾られています

もう一つは、義家が戦でみちのくに陣営を張った際、山から雄鹿が雌鹿に訴え掛ける声を聞き「獣でも妻を恋うもの。まして我ら都を出て十二年、妻を恋い思わざる者あらんや」と幕をかぶって鹿の戯れる様子を踊ったことが始まりと伝えられています。

1925年(大正14年)に福岡町(現三戸市)の香香稲荷神社で開催された二戸・九戸・三戸郡郷土芸能大会で優勝したという記録が残っています。このことから根反鹿踊りは約100年も前から高く評価されていたと分かります。



毎週土曜日に行われる練習風景。さまざまな世代が集います



2匹の雄鹿が1匹を雌鹿を奪い合う『役舞』一番の見せ場です

学校との連携

「昔のお祭りでは必ず控えの踊り手がいた」と振り返る中瀬さん。出演したくても出来ない人が出るほど多数の踊り手がいたそうですが、昭和の中ごろから根反地区の過疎化により後継者不足が深刻化します。

根反地区のみで後継者を育成することは難しいため、保存会と教育委員会は根反地区の学区である一戸南小学校で『根反鹿踊り』を取り入れようと働き掛け、1994年(平成6年)に『伝承クラブ』という形で活動が始まりました。

それまでは根反地区の男性のみが踊れるものですが、伝承クラブが始まるのをきっかけに、地区、性別関係なく一戸南小の児童が参加できるようにになりました。

指導方法もこれまでは一から指導されることはありませんでしたが、子どもたちに分かりやすく指導するため、歌を番号で区切り、一つ一つ教えるという方法に変わりました。

現在では3年生から6年生までの10人が伝承クラブに所属し、練習に励みます。部長の猪股夢叶ゆめかさん(6年)は「運動会で見た鹿踊りに憧れて入部を決意しました。たくさんの人に踊りを見てもらい、伝承クラブが学校の宝として長く続いてほしい



澤口さんから授業で習った鹿踊りの歴史や由来をもとに、調べ学習を進め、模造紙にまとめました。太刀を手作りした児童もいます

です」と笑みを浮かべました。一戸南小では伝承クラブのほかに総合学習で鹿踊りに取り組んでいます。4年生の関上颯太さたさんは昨年の総合学習をきっかけに伝承クラブに入部。「鹿踊りの授業がとても楽しく、もっと上手に踊れるようになりたいと入学した。大人になるまで続けたい」と踊りに夢中です。

二人の指導者

伝承クラブ、総合学習ともに指導するのは、根反鹿踊り保存会の澤口亜希あきさんと宇部崇さん。二人とも総合学習の時間や、土曜日に行われる伝承クラブの練習に仕事の合間



授業参観で保護者に練習の成果を披露

を縫って参加します。本年度は、3年生14人が2学期の総合学習で根反鹿踊りに取り組みました。踊りだけでなく澤口さんが作成した学習プリントを使用して、根反鹿踊りの歴史や意味、ほかの地域で踊られる鹿踊りなども学習して郷土芸能への理解を深めました。

この成果は授業参観や、校内の発表会では全校児童の前で披露。根反鹿踊りの最後の授業では、澤口さんと宇部さんへ「丁寧に教えてくれてありがとうございます」 「二人のおかげで楽しく踊ることができました」など一人ずつ感謝の言葉を伝え、色紙が送られました。

町の中へと広がって



伝承クラブの練習にて。宇部さんの話に真剣に耳を傾けます

根反鹿踊りが 教えてくれたもの

小学校5年生から根反踊りを始め、今では保存会の副会長も務める澤口亜希さん。19年前から指導者としても活躍しています。

「もしも根反鹿踊りをしていなかったら、たくさん外に出たり、積極的に人と関わろうとしないような向きの人間になっていたと思います」と

苦笑い。根反鹿踊りを通して学ぶのは踊り方だけではなく「何事も自分で決める決断力と自信、社交性を身に付けられます」と澤口さん。実際には保護者から「内気だった性格の子どもが根反鹿踊りを始めてから、何事にも自信をもって取り組むようになった」という言葉をいただいたこともあるそうです。

現在は後継者の確保に奮闘中。「南小の伝承クラブや総合学習のように、小さいころから根反鹿踊りに触れる環境は整っています。しかし、進

学・就職を期に町を離れ、どうしても続けられなくなる人が多いことが課題です」と分析します。町を離れた人にも、出演情報や練習日程の情報は積極的に発信しています。「就職・進学後にも鹿踊りができる環境づくりを進めたい」と意気込んでいました。



澤口亜希さん（西法寺）

踊りが好きな人を 増やしたい

る人は少なく、悔しい思いをしました。

初めて根反鹿踊りを習う子どもたちは半年〜1年ほどで鹿の動きを覚えます。「覚えたことに満足せず、魅せ方を追求してほしい」と願う宇部さん。すぐにはアドバイスせずぐっぐつとこらえて子どもたちに考えさせたり、踊っている様子の動画を見せたりして、自分たちの動きを客観視する力を養わせます。

今後は「人口減少による後継者不足の問題は否めない。この問題は、一町民としても考え、行動を起こさすべき」と決意を新たにし「自分にできることは根反鹿踊りを盛り上げて、町の活性化につなげる。郷土芸能だから残さなければいけないと強制するのではなく、根反鹿踊りが好きだから残したいと思ってくれる人を増やしていきたい」と力を込めました。



宇部崇さん（一戸）

保存会会員の宇部崇さんは小学校3年生から根反踊りを始めました。8年前から指導者としても活躍しています。指導する最大の目的は「踊りを披露し、お客さんに喜んでもらうためにはどうすればよいか考える経験をしてもらうこと」と語ります。

そのきっかけとなったのが2012年（平成24年）に出演した北上みちのく芸能祭り。一直線に続く広大な道路上で、出演団体が一列に並び、一斉に演目を披露、当然お客さんは自分が見たいところに集います。端で踊っていた根反鹿踊りを見ようと立ち止ま

思いはつながり 受け継がれてゆく

力強く響き渡る掛け声とは裏腹に、終始和やかなムードで丁寧な指導にあたる澤口亜希さんと、宇部崇さん。根反鹿踊りを継承する中心的存在のお二人に踊りへの思いを聞きました。さらに踊り手として頑張る中学生、日ごろの練習を見守る保護者からも話を聞きました。



本番では力強い掛け声で太鼓を叩く澤口さん（手前）と宇部さん（奥）



南小伝承クラブで指導する宇部さん、動画で動きを確認します



深田美稀さん（女鹿）

深田美稀さん（一戸中1年）は小学校2年生で伝承クラブに入り、昨年保存会で活躍しています。中学まで続けるつもりはなかったそうですが、続けるうちに鹿踊りが大好きになったそうです。今となっては「踊りを披露し、拍手をもらう瞬間が1番うれしい」と目を輝かせます。

澤口さんと宇部さんの指導については「2人とも一つ一つ丁寧に教えてくれるので、とても覚えやすい。澤口さんはうまく踊れるようになるまで何度も根気強く教えてくれ、宇部さんは練習中に面白いことを話して楽しませてくれる」と話します。

「中学生になって環境は一変して勉強に部活に忙しい日々だが出来る限り続けていきたい」と決意を新たにしました。

鹿踊りを含め、四つの習い事を掛け持ちする五日市結愛さん（一戸中3年）。共に練習や公演に足を運び、サポートする母・明日香さんに、ほかの習い事との両立は親御さんにとっても大変ではないかと尋ねると「練習も公演も強制ではないので、無理せず参加できています。踊りを見た先生から励ましの言葉をいただき、それ以来ほかの習い事でも柔軟に対応してもらっているので助かっています」と話します。

結愛さんの将来の夢は小学校教諭。亜希さんや宇部さんのように指導する立場になりたいそうです。「夢をかなえて母校で教えられたらいいですね。それまで長く続けてほしいです」と明日香さんは目を細めました。



五日市明日香さん（左）・結愛さん（西法寺）

根反鹿踊りの衣装



くじ（保存会では指輪と呼んでいます）習字用の半紙で手作りされたもので中指に着けます

ササラ。先代の保存会会長が、シロシキブという木を入手しました。一本一本加工し、適当な大きさに切り、削って、手作りされたものです

内側に着る着物。昔から袖の色は赤と決まっています

外側に着る着物。腕を通さず、二枚の帯で仮結びした後脱いで、腰の位置で垂らします

前掛け

太刀（右）、ササラ（左）の衣装。来ている着物は二つとも同じです。ササラは鹿と同様に腰当てとやなぎを装着します。二枚の着物を重ね着し、上の1枚は袖を通さず2本の帯で固定します。帯は、表が黒色で裏がオレンジ色のものと、表が緑色で裏がオレンジ色の2種類のものを使います。腕を通す着物の袖は赤色。帯の黒、緑、オレンジ、と着物の袖の赤の4色は、理由は定かではありませんが昔から伝統として用いられている色です。



ししがら鹿頭

紙ザイ

やなぎ

腰当て

幕

たっつけ袴

草履



左が大人用、右が子ども用の鹿頭。大人用の鼻部分には川から取ってきたコケが載せられています。子ども用の鼻部分には使用しなくなったマットレスのスポンジを再利用、費用をかけないように材料を集めました



鹿頭の型。重くならないようにキリの木を使用。知人から譲り受けた木を使用して、加工から組み立てまですべて手作業で行います



左と中央の鹿頭が過去に使われていたもの。手前のものが地藏堂さんが作った鹿頭です。過去に使用した鹿頭の記録として大切に根反自治公民館に保存されています

「お義母さんが根反鹿踊りの大ファンだったんです」と笑みを浮かべる米沢京子さん。結婚を機に一戸町民に。衣装づくりの技術を義母から受け継ぎ、2015年（平成27年）までさかえやを営み町内の郷土芸能団体の衣装を制作していました。お店を畳んだ後も、根反鹿踊りの鹿、ササラ、太刀が履くズボンと着物の制作を続けています。



米沢 京子さん（高善寺）



①ズボンの生地。奥が現在のもの、手前が過去に使用したもの。自宅で洗濯できるようポリエステル製の生地に変更。さらに踊り手のために伸縮性の高いものを選びました
②長らく愛用してきた手帳に作り方や生地などをメモし、いつでも過去に作ったものを確認できるようにしています

トを入れ、激しく動く部分には生地を縫い足して補強。全て手縫いで行います。既製品には無い強度と伸縮性を備えたズボンは、1本作るのに丸2日掛かります。今日まで作り続けられた理由を聞くと「やっぱり好きだからですかね。自分が作った衣装で踊る姿を見る瞬間が一番うれしい。元氣なうちは作ってあげたい」と照れながら話してくれました。

義母から受け継ぎ



地藏堂 次男さん（根反）

現在、根反鹿踊り保存会が所有する鹿頭は約50体。全て地藏堂次男さんを中心に作り上げました。建築大工である地藏堂さんは30代のときに帰郷し数年後に根反鹿踊りを始めました。県指定無形民俗文化財登録を目指すため鹿頭を一新することになり、丸2年掛けて完成させました。知人から譲り受けたキリの木で鹿頭の型を制作。その後、塗装を施して装飾材を貼り付けます。目の高さ、鹿の歯の

間隔など細部までこだわりました。「当時、仕事後は公民館へ直行する生活を送りました。制作期間が短く、とにかく無我夢中で作り続けた日々でした」と振り返ります。根反鹿踊りへの思いを聞く。「人が少なくなってきた長く続けられるものか不安に思っています。大変な思いをして鹿頭を作り上げたから簡単に無くなるのは悔しいなあ。鹿バカみたいな鹿踊りが大好きな人がもっと増えてほしいです」とほほ笑みました。

仕事と制作の日々



根反鹿踊りの歩み

主な出演・受賞歴

大正14 二戸・九戸・三戸郡郷土芸能

大会で優勝

昭和41 根反鹿踊り保存会発足

昭和43 一戸町無形文化財指定

平成6 一戸南小で根反鹿踊り伝承ク

ラブが発足

平成8 県指定無形民俗文化財に指定

される

国際民俗芸能フェスティバル

第38回北海道東北ブロック民

俗芸能大会出演

平成9 国立劇場特別企画公演「ひな

のふし・ひなの遊び」出演

平成10 ベラルーシ共和国の日本文化

祭出演(二戸南小伝承クラブ)

平成11 岩手県教育表彰受賞

平成15 文化庁主催北海道・東北ブ

ロック文化芸術懇談会出演

平成16 文化庁より地域文化功労表彰

受賞

平成24 第51回北上・みちのく芸能ま

つり出演

※二戸まつりと二戸町郷土芸能祭には毎年出演し、

そのほかにも多数のイベントに出演しています。

【次回出演予定】

岩手芸術総合フェスティバル

■日時 1月23日(日) 13時開演

■場所 二戸市民文化会館

「踊りに完璧は無い」取材中何度も耳にした言葉です。現在は澤口さんと宇部さんが丁寧に指導していますが、中瀬会長や地藏堂さんが踊り手として活躍した頃は一度手本を見たら、すぐに輪の中へ入らされて先輩の動きを必死に盗んでいました。地藏堂さんは「やってもやっても先輩からダメ出しされたなあ」と振ります。

「よくできました!」と思っても、後から動画を確認するとしっくりこないことはよくあります」と澤口さん。

時代の流れとともに踊る環境も変化してきましたが、変わらず継承される思いは根反鹿踊りへの「誇り」と完璧はないという「飽くなき探求心」の2つです。

毎週行われている練習には0歳から80代まで集まります。練習についてきた小さな子どもたちが大人になるころ、根反鹿踊りはどんな形で受け継がれているでしょうか。

町にはほかにもさまざまな郷土芸能があります。町の宝として後世に残すために私たちにできることは――。まずは観客として足を運び、拍手を送ってみませんか?

特集 受け継ぐかたち (二)

輝 奥中山高原駅イルミネーション点灯 く駅舎、地域に元気を

IGR 奥中山高原駅を飾るイルミネーションの点灯が12月17日から始まりました。

同日開かれた点灯式には、関係者や観客ら約30人が出席。小野寺町長らが点灯ボタンを押すと、駅舎とその周辺がきらびやかな輝きを放ちました。点灯を心待ちにしていた奥中山小2年の釜石愛夢さんは「駅も木の飾りもとてもきれい」と目を輝かせました。



時間は16:00から22:30まで。2月27日まで毎日点灯

国 中高生国際交流派遣事業結団式 内でできる国際交流を

軽米町・一戸町国際交流派遣事業の結団式が12月17日、町民文化センターで行われました。本年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、福島県の英語研修施設ブリティッシュヒルズで4日間の英語研修を受けます。中高生代表の柏葉美咲さん（一戸高校3年）は「施設に入ったら会話は英語。積極的に話して、実践的な英語を学びたい」と決意しました。



参加者全員で記念撮影。町内の中高からは16人が参加

一 戸の魅力詰め込んだ酒

町と(株)南部美人では『地域とつながる日本酒づくりプロジェクト』と題して、町内産の米と水を使用した日本酒づくりを進めてきました。

一戸高校の生徒が商品名とラベルデザインを担当。人の温かさや自然の豊さを新たに吹き込む風にのせて多くの人へ届け、町の活性化につなげたいという思いを込め『一吹』と命名しました。ラベルには星空や風車など町の風景が描かれています。12月2日には南部美人で搾りとラベル発表が行われ、完成品は12月10日から町内の酒販店などで販売開始し、現在はほぼ完売となるなど大好評でした。一戸高校プロジェクトリーダーの村里和香さん（2年）は「実際に酒蔵を見学することができ、とても貴重な体験となった」と振り返りました。



①一戸高校プロジェクトメンバー ②完成した「一吹」
来年以降はラベルデザインを変え継続して作っていく予定 ③作業中のプロジェクトメンバー

地域とつながる日本酒づくりプロジェクト

新 元旦『茂谷の山』登山 年の恒例行事に

登山愛好団体・朋遊会（小野寺邦夫会長）による茂谷の山への登山が1月1日に行われ、小学生から80代まで40人が参加しました。25回目となった今年は7時に役場を出発し1時間ほどで山頂に到着。小友神楽などが披露され、全員で『一月一日』を歌いました。初参加の穴久保大希さん（小鳥谷小5年）は「みんなと話しながらか楽しく登れた」とほほ笑みました。



1列になって登山する参加者

地 奥小児童がアスパラガス収穫体験 元野菜に関心高める

奥中山小（白木澤敏行校長、児童102人）の3年生21人は12月17日、坂本亮太さんが管理する中山字大畑のハウスでアスパラガスの収穫を体験しました。児童たちは、大きさにこだわって収穫。その後、たくさん質問をして地元の野菜について学びを深めました。長内朔さんは「奥中山で作られていることは知らなかった。もっと地元の野菜を調べてみたい」と関心を高めました。



1人1本収穫。その場で焼いて取れたてを味わいました

た 小濱アキさん満100歳 くさんのお祝いに、笑顔咲く

地域密着型特別養護老人ホーム慶寿園に入所している小濱アキさん（面岸）が、12月11日に満100歳を迎えました。当日は同施設で祝う会が開かれました。長生きの秘訣はヒエのご飯を食べて育ったこと。アキさんは「皆さんのおかげで100歳を迎えられました。今日は今までで一番良い日、これからもよろしく願います」と目を輝かせました。



満面の笑みを浮かべるアキさん（写真提供：慶寿園）

持 SDGs セミナー開催 続可能なまちづくりを

一戸町ユネスコ協会（古館英彦会長）は12月3日、コミュニティセンターでSDGsセミナーを開きました。NPO環境パートナーシップいわての丸尾美由紀さんと、鈴木亨副町長が講師となり、ユネスコ会員ら12人がSDGsや町の取り組みへの理解を深めました。工藤ユキさん（中里）は「持続可能なまちづくりのために学びを生かしていきたい」と意気込みました。



講義に真剣に耳を傾けメモをとる参加者

世界文化遺産

「北海道・北東北の縄文遺跡群」

令和3年7月に世界文化遺産に登録された『北海道・北東北の縄文遺跡群』。その構成資産の一つである一戸町の御所野遺跡は、約5000年から4200年前の800年間にわたって続いた縄文時代の集落跡です。竪穴建物跡や配石遺構が見つかり、当時の集落の様子がよく分かる貴重な遺跡と評価されています。御所野縄文公園では、12棟の竪穴建物を復元しているほか、周辺の環境を縄文時代に近づけ、まるで当時にタイムスリップしたような感覚を味わえます。併設の博物館では出土した土器などの展示や、プロジェクトマップで縄文人の暮らしなどを紹介。土器づくりや勾玉づくりなどの縄文体験もできます。

縄文を体感できるイベント開催！

【小指組み紐ひもでアクセサリーをつくる】

日本古来の技法「クテ打ち組み紐」でアクセサリーを作ります。(体験料1,200円)

◆日時 1月23日(日) 10:00～12:00

◆料金 1,200円

【冬の縄文公園を歩いてみよう】

スノーシューなどを履いて散策します。

◆日時 2月5日(土) 10:00～12:00

◆料金 大人500円、子ども200円

※場所はどちらも御所野縄文公園です。事前申し込み必須。

☎御所野縄文博物館 (☎32-2652)



一戸町・二戸市 紙面合同掲載企画

浄法寺漆 × 御所野縄文

～縄文時代と現代をつなぐ漆～

浄法寺漆と御所野遺跡を学ぶイベント「浄法寺漆×御所野縄文」が11月6、7日の2日間、一戸町の御所野縄文博物館で行われました。会場では、ウルシの実から採取したろうを使ったキャンドルや漆ストラップの制作体験、漆掻き体験と漆掻き職人による実演などが行われたほか、御所野遺跡から出土した赤や黒の漆が塗られた土器の展示も行われました。

参加者は、漆が太古の昔から生活の一部にあり、日本人にとって身近な存在であることを改めて体感しました。

一戸高2年の柴田千夏さんは「ウルシは職人が扱う物だと思っていたが身近に感じることができた。ウルシと御所野遺跡とのつながりも学ぶことができた。御所野遺跡の盛り上げと一緒に取り組んでいきたい」と意気込みました。

⑤談笑しながら漆のストラップ磨きを楽しむ参加者 ⑥縄文時代へのタイムスリップ「きききのつりはし」 ⑦可愛いキャンドルできたかな？ ⑧立ち並ぶ竪穴建物からは、縄文人の息遣いが感じられる

①自分の好みに合わせて色付けしながらキャンドル作りを楽しみました ②漆掻きに挑戦！こぼさないように慎重に ③ウルシの実も古くから活用されてきました ④ウルシの原木から流れる樹液

漆の温かみ感じる一点モノの雑貨



漆染めは、状況により染まる色合いや柄が少しずつ変化します。落ち着いた色合いは、自然の温かさがあふれる1品に。数々の雑貨から自分だけの一点を見つけよう。

販売場所 (株)ポトラガーデン、なにゃーとなど
営業日時 【(株)ポトラガーデン】10:00～15:30 (土日祝日は休業)

価格 巾着 2,530円、ピアス 2,970円ほか
☎(株)ポトラガーデン (☎26-2363、二戸市似鳥沖野60-1)

無形文化遺産「伝統建築工匠の技 木造建造物を受け継ぐための伝統技術」

令和2年12月17日、「漆掻き技術」を含む「伝統建築工匠の技 木造建造物を受け継ぐための伝統技術」がユネスコの無形文化遺産として登録されました。

「伝統建築工匠の技」は、文化財保存のために不可欠な伝統的保存技術を国が選定し、木造建造物の修理に関わる17の技術としてまとめたものです。歴史的建造物を修理する際に、本来の部材との調和を取りながら傷んだ部分を取り換える、職人の高度な技術や、漆やい草など、修理に必要な資源を、保全に配慮しながら採取する長い年月で培われた知恵などが高く評価されました。



一戸高校の魅力と旬な情報を発信！

#桜陵

一戸高校の星



剣道部
田ノ岡 悠斗 さん
(2年・一戸中出身)

1. 剣道をとおして身についたことは？

夏は防具を着けながら暑さに耐え、冬は寒くても裸足で稽古に臨むため、忍耐力が身に付きます。もちろん礼儀も身に付きます。

2. 剣道の魅力は？

対戦する時の高揚感、技が決まった爽快感です。

3. 今後の目標は？

部員は現在僕ひとりですが、目標は個人戦で県大会ベスト8に入り東北大会に出場することです。新1年生が入部してくれることを期待し、団体戦でもベスト8を狙いたいと思います。

話題 Topics

クリスマスコンサート開催

生活・文化系列音楽選択生と吹奏楽部によるクリスマスコンサートが12月21日に行われました。校内での演奏機会を設けるために昨年度からスタートし、今回は立ち見の生徒が出るほど大盛況、クリスマスソングなど全5曲が披露されました。吹奏楽部部長の2年松尾帆夏さん(一戸中出身)は「楽しく演奏することができ、たくさんの人に集ってもらって会場が盛り上がった」と振り返りました。演奏を聞いた3年山本夢空さん(一戸中出身)は「ジャングルベルでは一番盛り上がり、会場全体が楽しい雰囲気だった」とほほ笑みました。



ジャングルベルの演奏では大きな拍手で会場が一つになりました

SDGs アクション

町の現状・未来を考える

岩手県と岩手県立大学が実施する北いわてで未来人材育成事業出前講座を1年生54人が12月2日と9日に受講しました。9日には(株)赤澤号のキャリアコンサルタント赤澤徳俊氏を講師に迎え、これまでの振り返りとグループワークに挑戦。文化祭の展示発表で各グループが選んだ17の目標に対する地域の現状についてアイデアを共有し、解決方法を考えました。生徒からは「バックカスティングの考え方からゴールを逆算して、今やるべきことが明確になった。すぐにできることを始めたい」などの感想が寄せられました。



選択した目標に対して町の現状がどう真剣に考えます

※掲載内容は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止または延期となる場合があります。あらかじめご了承ください。

総合保健福祉センター

親子のコミュニケーションを大切に！

子どもは生まれたときから人との関わりを必要とします。特に乳幼児期は、一番身近な存在である親とのコミュニケーションによって安心感や自己肯定感、意欲など生きる上で大切なベースが育まれます。積極的に話掛けたり、遊んだりすることは言葉や表現を形成し、生きる態度や

人間関係にもつながります。絵本や歌、お手伝いをお願いするなど、ふれあいの時間を大切にしましょう。

○絵本でつながる親子の時間

大人が本を読む声、ページをめくる感触。1冊の絵本を誰かと共有する体験は、子どもの心を豊かにします。

○あそび相手は身近な自然

散歩などの外遊びは楽しみや学びの機会にあふれています。草花や虫、周りの景色など、道すがらのさまざまな出会いを楽しんでみましょう。

○親子で楽しい料理の時間

物事の整理や段取りも得意になる料理体験。配膳や片付けなど、年齢に合わせてできることからお手伝いをさせて料理をする人のそばで一緒に過ごすことから始めてみましょう。



地域包括支援センター

あんしん見守りシール事業を開始します

町では、徘徊してしまう高齢者の早期発見と安全確保のために、QRコードを使用した『あんしん見守りシール事業』を始めました。

シールにあるQRコードを読み込むと、その人専用の「どこシル伝言板」につながり家族へメッセージが送られます。



シールの利用を希望する人は、詳細をお知らせしますので気軽に保健センターへ連絡してください。

■QRコードシール見本



オレンジカフェさくらの会

■日時 1月15日(土)
13:00~15:00
■場所 コミュニティセンター
■料金 100円

多世代交流カフェ まるっと

■日時 1月22日(土)
10:00~12:00
■場所 結カフェ

★保育施設開放 (2月8日 10:00~11:00)

鳥海保育所 ☎ 32-2220 小鳥谷保育所 ☎ 34-2524
奥中山保育所 ☎ 35-2319 摺糠児童館 ☎ 35-2316
※要予約。マスク着用など感染症対策にご協力ください。

★子育て支援ひろばのびのび ☎ 32-3770

平日の月・火・水 9:30~14:30
※役場隣の日保健センター

★るんだ・るんだ ☎ 35-2314 ※要予約

10:00~12:00 ※中山字大塚4-6(奥中山学園内)

『まちの健康相談室』は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間休止します。皆さまのご理解をお願いします。

わわわのどおーも & ぶらぶららいぶらりい

〒028-5312 一戸字砂森 117-2 / ☎31-1400 FAX 31-1888
コミセン▷ <http://ichi-culture.jp/komisen/> 図書館▷ <http://ichinohe-lib.sakura.ne.jp>

注目1 『新年かきぞめ大会金賞作品展』

令和4年1月8日開催の新年かきぞめ大会の金賞作品を展示します。

■料金 入場無料

■期間 1月23日(日)まで

平日 9:00～19:00

土日祝 9:00～18:00

■場所 コミュニティセンターロビー

■園 コミュニティセンター



注目2 地域おこし事業「柴田外男の切り絵教室」

■日時 2月27日(日) 10:00～12:30

■料金 500円(材料費・保険料)

■対象 小学生～一般

■定員 先着15人

■申込み 2月1日(火)から申込みを開始します。
(定員になり次第締切) 問い合わせ先へ連絡してください。

■場所 コミュニティセンター会議室1・2

■園 図書館



『おおきなかせのよる』
安倍 結 / 作 ポプラ社 / 刊
児童書



『のへ』
のへの発行
一般書

かせがつよい夜。男の子のへやおもちゃたちが、かせにとばされ、そとにかけ出した！男の子もいっしょに、かせにのって森の中へ。森についた男の子とおもちゃたちは、いっしょに、かけっこやかくれんぼをして…。

一戸から九戸までを戸の街とその周辺を一つのエリアと捉え、戸に息づく地域資源やものづくりを発信している『のへ』。今号では「心温まるなつかしい街」として、まちなか商店街から奥中山まで、一戸町が大特集されている。

イベントカレンダー

※イベント参加時は、マスクの着用(2歳以上)と名簿への記入をお願いします。

▷ 1月

8 土 かきぞめ展 / 入場無料 (23日(日)まで)

17月 休館日

21 金 とことこおはなし会 / 乳幼児向け 10:45～(子育て支援センターのびのび)

23日 9:00～ 絵画教室 / どなたでも

24月 休館日

26 水 13:00～カラオケ倶楽部 / 300円

29 土 一戸高校美術部・書道部合同展 入場無料 (2月20日(日)まで)

31月 休館日

▷ 2月

7月 休館日

9 水 13:00～カラオケ倶楽部 / 300円

11 金 10:00～、14:00～
ひゃっか王からの挑戦状(図書館のクイズイベント) / 小中学生対象 / 参加無料 (13日(日)まで)

14:00～ / 一般向け
リーヴルシネマ (134分)
『影裏』

12 土 としょかん映画会 / 幼児・児童向け
『ざわざわ森のがんこちゃん2』
10:45～ 20分

13日 9:00～ 絵画教室 / 一般向け

14月 休館日

16 水 13:30～
童謡・唱歌を楽しむ会 / 参加無料

18 金 とことこおはなし会 / 乳幼児向け 10:45～(子育て支援センターのびのび)

19 土 希望境いわて国体・いわて大会記念パネル巡回展 / 入場無料 (~20日(日)まで)

21月 休館日

24 木 休館日

27日 10:00～地域おこし事業
「柴田外男の切り絵教室」申込み
1日～ (定員15人) / 500円

あけましておめでとうございます

冬の御所野縄文公園を満喫してみませんか？

縄文体感プログラム「冬の縄文公園を歩いてみよう」

クロスカントリースキーや、かんじきを履いて冬の縄文公園を歩きます。雪原に残る動物たちの足跡をたどったり、木々の冬芽を眺めたりして冬の御所野遺跡をゆったり楽しんでみませんか？冷え込みますので暖かい服装でお越しください。

■日時 2月5日(土) 10:00～12:00 (荒天中止)

■場所 御所野縄文公園

■料金 大人500円、高校生以下200円

■定員 10人

■申し込み 2月1日(火)までに問い合わせ先へ電話で申し込んでください。



昨年の様子

TRY! FITNESS!

～冬こそダイエットの好機！～

理想の体に!エクササイズ教室開催

皆さんの健康保持・体力向上・介護予防を目的にエクササイズ教室を開催します。

■日時

【日曜教室】 1月23日、2月6日、13日、20日、27日、3月13日
各10:30～11:30

【木曜教室】 1月27日、2月3日、17日、3月3日、10日 各18:00～19:00

■場所 コミュニティセンター

■内容 ステップエクササイズ・トランポリンエクササイズ・バランスボールエクササイズ・筋力トレーニング

■料金 日曜教室2,500円、木曜教室2,000円

■申込み

1月20日(木)までに運動公園に直接、または電話で申し込んでください。(定員10人) 早めの申し込みをおすすめします。

新年のごあいさつ

御所野遺跡が世界遺産に登録されて初めての新年を迎えました。

冬の御所野はとても静かですが、ウサギやキツネの足跡があちこちに散らばっていて、私たちの知らないところではにぎやかなようです。

博物館職員一同、外の動物たちに負けないよう、元気に御所野遺跡を盛り上げてまいります。今年も御所野遺跡をどうぞよろしくお願いいたします。

History

御所野縄文博物館だより

園 御所野縄文博物館 ☎32-2652

○休館日
1/17(月)、24(月)、31(月)
2/7(月)、14(月)

今年もやります! クロスカントリー体験

運動公園は一面真っ白な雪景色。雪の積もった公園内にはクロスカントリー(歩くスキー)コースが出現します!家族みんなで気軽に歩くスキーが楽しめます。希望者にはワンポイントアドバイスも可能です。冬用の動きやすい服装でお越し下さい。



施設利用料や道具一式は無料で貸出ししています。(靴のサイズ22.5cm～27cm)

Sports

運動公園だより

園 NPOスポーツウェルネス
☎33-4444 FAX 33-4445
開館 9:00～21:00





○先月号の答え
いわてユネスコ科学賞

○先月号の当選者 (応募 13 通)
①鏡もち ②ごしょこさん
③田中草奈さん

○今月号のクイズ
Q1 根反鹿踊りの踊り手は鹿と太刀ともう一つは何？
(ヒント:P13)
Q2 広報に関する意見感想、取り上げてほしい人・内容などありましたらお聞かせください。

○応募方法
ハガキ、またはメールに①クイズの答え、②住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥ペンネーム (あれば) を記入し、下記へご応募ください。

○あて先
〒028-5311
一戸町高善寺字大川鉢 24-9
広報クイズ係 (1月31日締切)
メール:kouhou@town.ichinohe.iwate.jp

人の動き 11月末(前月比)
人口 11,606人 (-32)
男性 5,608人 (-18)
女性 5,998人 (-14)
世帯数 5,574世帯 (-16)
転入 8人 転出 24人
出生 1人 死亡 17人

火災・救急 (11月分)
火災 0件 救急 46件

交通事故 (11月分)
発件数 16件
人身事故 1件(死者0人)
物損事故 15件

ごみの量 (11月分)
排出量 257ト
(町民1人1日 605㌔)

子育て知恵袋 child-raising



奥中山小学校 副校長 岩井澤通代

「自分らしさ」を大切に

私は二十年近く、特別支援教育に関わってきました。特別なニーズを必要とする子どもや家族と関わる経験を通して、「自分らしく生きる」ことの大切さを学びました。親や教師といった大人の、普通の子を想定したあるべき姿に近づけようとするとあまり、いつしか子どもの持っている「自分らしさ」に気付くことができなくなっていました。

心地よくなってきたのです。私の姿を見ながら笑っていたYさんでしたが、いつしか朝の準備を終えることができなくなりました。このように、子どもの立場になって物事を捉えると、支援の視点も変わり、多様な働き掛けをすることができなくなりました。

くの人たちに喜びを与えたときに、自らも生きがいや幸福を感じることができると感じています。私も奥中山小学校で働くことに生きがいや喜びを感じています。そして、次代に生きる子どもたちが豊かに健やかに育てていくことが使命であると感じています。次代を考えるとすることは、同時に私たちを取り巻く自然や環境に目を向けることです。奥中山地区は豊かな自然や環境、そして福祉が充実している地域です。この豊かな環境を大切にしながら、今後、子どもたちの「自分らしさ」に寄り添い、一緒に歩んでいきたいと思っています。

皆さんからのおたより 特別編 Letter



ごしょどんへの年賀状がたくさん届きましたので一部を紹介します。かわいいイラストもたくさん、皆さんありがとうございます！

文化財巡り cultural property

町指定有形文化財 (1995年10月2日指定)

「関屋大日堂板碑」

西法寺字関屋 関屋大日堂境内

中世に造立されたとみられる二つの板碑が関屋大日堂の境内にあります。一つは鳥居をくぐってすぐ左手の大きな柳の木の下に立っています(写真①)。表裏両面が平らに整形された板碑で、正面に大きく種子「ア」が刻まれています。「ア」は、梵字の一番初めの字です。一切の言葉、音声の根源とされ、密教の根本仏である大日如来を示しています。密教では、瞑想によって「ア」字の示す大日如来と一つになる「阿字観」という修行が行われています。



(東方)、開敷華王如来(南方)、無量寿如来(西方)、天鼓雷音如来(北方)を加えた「胎藏界五仏」を表しています。15世紀半ば頃に成立した現行の百箇日供養では本尊を観音菩薩としています。この碑はそれ以前の鎌倉時代末期から南北朝時代にかけての造立と考えられます。これら二つの板碑は、「小枝八幡宮板碑」とともに、県北地方における数少ない中世の板碑資料として町有形文化財に指定されています。※種子：の碑面上部に大きく刻まれる梵字のこと。

文芸 tanka・haiku

11月短歌・俳句会 一戸町文化協会短歌・俳句部会 場所・町民文化センター

短歌

当然に助け合うこと世の常と
ヤングケアラ一猶も憂い事
おまえさん何処から来たのテーブルの
椿象かめじについて声かける屋
道の端に返り花なるたんぽぽの
一輪低く陽に温もりぬ
大谷のMVPの獲得が
希望と夢を世界の人に
片づけの得意な姉の助けにて
亡夫の諸道具整ひしまふ
初孫の世話も出来ぬと涙する
補装具つけし友はリハビリ
隣り家と蜘蛛の糸にてつながりて
雨あがりたる今日の良き日よ
冬に入るほっこりリズムの順調に
焼芋、煮豆ストープの上
大波にひれ持つごとくひるがへり
サファールカノア・ポセイドンカノア
初森 テル
仁昌寺 洋子
山火 明良
東山 智子
大矢 トモ
遠藤 道子
柴田 サヨ子
岩淵 良子
中館 木実

俳句

暮れの秋名前にひかれペロンチーノ
湯豆腐や一族無芸長寿なり
落葉して明るき御堂へ詣じけり
何気なく食進まぬ日りんご剥く
冬まじか演奏会の賑賑し
路地奥へ選挙車繁し秋時雨
初水嬉々うれしとたわむる通学児
遠くまで稜線見えて秋深し
どうだんの濃き緋ひの渦へ埋まりたし
山火 明良
中館 木実
仁昌寺 洋子
岩淵 良子
遠藤 道子
東山 智子
佐々木 悦子
柴田 のぞみ
柴田 サヨ子

新型コロナウイルスワクチン 3回目接種のお知らせ

3回目の接種は、2回接種した18歳以上の人を対象です。2回目接種後8カ月経過し、今回の対象になる人には町が接種日時を指定して接種券を送付します。4月以降の接種対象者には改めてお知らせします。

2月の接種対象者には1月中に接種券を送付します。接種予約は不要ですが、接種を希望しない人、ほかの会場で接種する人、指定の日時を変更したい人は、必ずコールセンターに連絡してください。

ただし、指定接種日前に変更することができないなど、希望に添えない場合があります。あらかじめご了承ください。

■接種券

- 3回目の接種券は、2回目までのシール型とは異なり予診票と一体になっています。
- 以下の人は接種券の発行申請が必要です。
- 他市町村が発行した接種券で2回接種した後に、一戸町に転入した人

- 他市町村から3回目接種券が発送された後に、一戸町に転入した人
- 接種券を紛失した人

■使用ワクチン

ファイザー社または武田/モデルナ社製

■シャトルバスについて

路線バスが運行していない地域を対象に、会場までの往復無料バスを2、3月に限り運行します。発着時刻は接種券に同封の時刻表を確認してください。降雪状況により運行を中止または路線変更する場合がありますのでご了承ください。

■予約方法

- ワクチンコールセンター（9:00～17:00）
☎ 019-681-3172
受付時間 9:00～17:00（土日祝日を除く）

☎健康子ども課

☎ 32-3700 内線 608、609、610

◎接種予定日（2・3月）

月日	場所・時間
2月6日(日)	
13日(日)	
20日(木)	総合保健福祉センター 午前 9:00～11:30 午後 13:00～15:30
3月6日(日)	
13日(火)	
20日(日)	

※日程はワクチンの供給状況により変更する場合があります。

※以降の日程および満5歳から11歳の接種などについては、詳細が決まりしだい町のホームページまたは広報などでお知らせします。

接種に当たっての注意

- 接種前にご自宅で体温を測定し、明らかな発熱がある場合や体調が悪い場合などは、接種を控え、健康子ども課に連絡してください。
- 2週間以内にインフルエンザワクチンなど、ほかのワクチンを接種した人は、接種できません。
- 肩に近い上腕に注射をしますので、肩を出しやすい服装でお越しください。
- 入院・入所中の医療機関や施設でワクチンを接種する人は、医療機関や施設に相談してください。
- 単身赴任中など他市町村に居住している町民は、居住地の市町村相談窓口にお問い合わせください。

＋ 一戸町と近隣市町村の休日当番医

月日	当番歯科医（管内）	電話	休日当番医（管内）	電話	休日当番医（岩手町）	電話
1/16	ますだ歯科クリニック	26-8282	ほそかわ小児科クリニック	26-8100	さわやかクリニック	62-2043
23	菅歯科	23-5161	小野寺内科医院	33-2505	北上脳神経外科クリニック	61-3636
30	ますだ歯科クリニック	26-8282	よこもり眼科クリニック	22-2230	佐藤整形外科クリニック	68-7240
2/6	渡辺歯科医院	23-2052	千葉耳鼻咽喉科医院	26-8133	沼宮内地域診療センター	62-2511
11	右門歯科クリニック	38-2288	かわさきクリニック	26-9900	佐々木医院	62-2234
13	菅原歯科医院	27-3301	おりそ内科循環器クリニック	22-2251	佐渡医院	62-3211
20	國香歯科医院（石切所）	23-2764	浄法寺診療所	38-2021	塚谷医院	62-1155

※当番医は変更になることがあります。事前に電話で確認してください。

募集

放課後学童クラブ 令和4年度の利用児童を募集します

■受付日時 1月24日(月)～28日(金)の
下校時～18時

■受付場所 入所を希望する学童クラブ

■対象 町内の小学生で、放課後などに
家庭で保育する人がいない児童。

■保育時間

下校後（授業のない日は8:00から18:15まで）。※日曜日、祝日、お盆、年末年始は休み。

■料金 月額2,000円
※2人目以降は1,000円。
おやつ代など別途負担あり。

■申請方法

各学童クラブにある入所申請書に必要事項を記入の上提出してください。申請書には同居家族全員の氏名や就労状況などを記入してください。

■対象施設

一戸学童クラブ、一戸南学童クラブ、小鳥谷学童クラブ、奥中山学童クラブ

■その他 定員を超える場合は、低学年の児童を優先します。

☎健康子ども課

☎ 32-3700 内線 617

お知らせ

二戸地区クリーンセンター 布団類の受け入れを再開します

二戸地区クリーンセンターでは延命化工事のため、布団・畳・カーペット・ブルーシートなどの長物について受け入れ制限をしていましたが1月末で工事が終了するため、2月1日(火)から受け入れを再開します。

一人当たり1日200kgを限度

として受け入れます。

200kgを超過する量を一度に処理したい場合は、引き続き九戸村のいわて第2クリーンセンターへ処理を依頼してください。

☎二戸地区クリーンセンター

☎ 25-5660

お知らせ

公的年金の源泉徴収票 の送付について

令和4年1月中旬より二戸年金事務所から「令和3年分公的年金等の源泉徴収票」が送付されますので、確定申告などに使用してください。

紛失した場合には、電話により再交付を依頼できます。手元に年金証書など、基礎年金番号が分かるものを準備のうえ、二戸年金事務所に連絡してください。

☎二戸年金事務所

☎ 23-4111（案内後⑤押す）

開催

町文化協会 チャリティショー

町文化協会会員による舞踊、民謡、詩吟、コーラスなどのチャリティショーを開催します。

■日時 1月30日(日) 12:00～

■場所 コミュニティセンター

■料金 無料

■その他 来場する人は感染症対策のため、マスクの着用をお願いいたします。

☎町文化協会 ☎ 32-2204

町民割引券について

奥中山高原温泉と来田保養センターでは、町民の皆さんが利用しやすいよう、割引券を発行します。

点線で切り取り、フロントなどに提出すれば右記の料金になりますので、ぜひご利用ください。



■朝朱の湯大浴場

☎ 奥中山高原・来田温泉 町民割引券

（広報1月号—R4.2.28まで有効）

この券で、下記の温泉の日帰り入浴（入浴のみ）を割引金額でご利用できます。

※本券1枚につき1人有効。

■煌星の湯・朝朱の湯

中学生以上 100円引き
小学生以下 50円引き

■来田保養センター

休館日 第1週、第3週火曜日
中学生以上 50円引き

information

お知らせ

皆さんの暮らしに役立つさまざまな情報をお届けします。

※掲載内容は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止または延期となる場合があります。あらかじめご了承ください。

一戸町役場 ☎ 0195-33-2111
〒 028-5311

一戸町高善寺字大川鉢 24-9

ホームページ

https://www.town.ichinohe.iwate.jp/index.html



ごしょどん、ごしょたん

◆訂正のお知らせ◆広報いちのへ令和3年12月号の内容に誤りがありました。お詫びして訂正します。

18頁 【秋の叙勲】稲葉健一さんの記事

誤) 県大会優勝

正) 支部大会優勝

21頁 左上の記事

誤) 小野寺民子さん

正) 小野寺多美子さん

29頁 【寄贈ありがとうございます】下段

誤) 東野政子さん

正) 東野雅子さん

☎ 奥中山高原・来田温泉 町民割引券

（広報1月号—R4.2.28まで有効）

この券で、下記の温泉の日帰り入浴（入浴のみ）を割引金額でご利用できます。

※本券1枚につき1人有効。

■煌星の湯・朝朱の湯

中学生以上 100円引き
小学生以下 50円引き

■来田保養センター

休館日 第1週、第3週火曜日
中学生以上 50円引き

一戸小金管バンド全国大会感謝報告会

一戸小金管バンドは12月11日、さいたまスーパーアリーナで開催された第49回マーチングバンド全国大会に出場しました。結果はグッドパフォーマンス賞。今大会では全ての団体にグッドパフォーマンス賞、グッドミュージック賞、グッドビジュアル賞のいずれかが送られました。

12月16日には役場庁舎を訪れ、小野寺美登町長と中嶋敦教育長に結果を報告。

これまで応援してくれた人へ向けて『全国大会感謝の演奏報告会』を12月28日、一戸

町体育館で開催しました。多くの観客に見守られる中、全国大会で演奏した『SPIRITED AWAY』の演目など全3曲を披露。米田里緒さん(5年)は「今

まで応援してくれたおじいちゃんやおばあちゃんが見に来てくれてうれしかった。来年も全国大会を目指して頑張りたい」と目を輝かせました。



報告会終了後の記念撮影

のびのびクリスマス会



ごしょどんと一緒に記念撮影

子育て支援センターのびのびは12月24日、クリスマス会を開きました。

赤ちゃんとお母さんが一緒に体を動かして楽しめる人形劇や、積み木を使ったゲームなどで大盛り上がり。ごしょどんがプレゼント

を持って登場すると歓声が飛び交いました。

生後5カ月の碧真ちゃんも参加した大道香織さんは「ごしょどんの登場にびっくり。楽しい時間を過ごせました」とほほ笑みしました。

編集後記

▼明けましておめでとうございます。今年もよろしく願いいたします。広報担当になって初めて特集にチャレンジしました。取材にご協力いただいた皆さま本当にありがとうございました。恥ずかしながら、根反鹿踊りをじっくり見たのは去年の御所野縄文ウィークスが初で、なんてカッコいいんだーと感激しました。いつまでも続いてほしいものです。▼今年は去年よりさらに多くの人を取材できるよう頑張ります！

まちづくり課 瀧澤 優香

▼2022年が幕を開けました。本年も広報いちのへをよろしく願います。今年の干支は「壬寅」。新しい成長が始まる年といわれているそうです。トラ(寅)イ&エラーの精神で、失敗を恐れずいろんなことにチャレンジしてみてください？

まちづくり課 猪股 成介

●広報いちのへ1月号の印刷経費は1部84円(税込)です



広報いちのへは、環境に配慮し、植物油インキとFSC森林認証紙を使用しています。

